

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 6 日現在

機関番号：32642

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21520594

研究課題名（和文） 日米の看護師国家試験問題のテキスト理解と語彙：使用言語の難易度の妥当性

研究課題名（英文） text comprehension and vocabulary difficulty of the national nurse's examination vs. NCLEX-RN: the appropriateness of the language

研究代表者

深谷 計子（FUKAYA KEIKO）

津田塾大学・言語文化研究所・研究員

研究者番号：00238445

研究成果の概要（和文）：

- ・5年分の過去問題分析の結果、看護師国家試験問題の専門用語は一般日本人でも読めない漢字が多く使用されている、文は主語が省略されていることが多く、平易ではないことが判明した。
- ・外国人看護師候補者の試験の成績が上がらないのは、日本語の問題だけではなく、日本の看護に必要とされる高度な専門知識が十分でないことも大きな原因とみられる。
- ・問題によってはルビ付きで問題が提示されれば解答しやすくなるかもしれない。

本研究の成果は看護師国家試験問題の日本語の改良に生かされたと考えられる。

研究成果の概要（英文）：

- ・The analysis of the past five years' tests reveals that many technical terms are written with extraordinary difficult kanji, and that many sentences are written without subjects and difficult to understand.
- ・Foreign nurse candidates' poor results of the examination seem to be caused not only by language problems but also by their poor technical knowledge.
- ・Hiragana text above kanji will be of help to some questions.

The findings of this research seem to have been employed for the improvement of the national nurse's examination.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,200,000	360,000	1,560,000
2010年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2011年度	700,000	210,000	910,000
年度			
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・外国語教育

キーワード：第二言語習得理論・看護師国家試験・日本語・語彙

1. 研究開始当初の背景

日本は経済連携協定（EPA）の締結により、

2008、2009年の2年間で1,000人の看護師・介護福祉士を受け入れることになった。2008年にはインドネシア人看護師・介護福祉士約200名が来日した。しかし、日本政府側は看護師は3年以内に日本の看護師国家試験に合格できない場合は日本での就労は認めないとしていた。日本の看護国家試験問題の日本語は日本人でも読めない漢字の専門用語、言い回しや、理解できない文章が多く、外国人にとって3年で試験に合格することはきわめて難しい。

## 2. 研究の目的

少子高齢化社会の日本において外国人の労働力は絶対必要なものであり、国際化するためにも、国家試験問題の日本語は見直す必要がある。国家試験は専門知識を測るものであり、平易な日本語が使用されるべきである。本研究は、試験問題の日本語に改良が見られることを目的とする。改良が見られれば、外国人看護師の合格率も上昇するであろう。

## 3. 研究の方法

(1) 看護師国家試験問題の言語分析：看護師試験問題の日本語のレベルは妥当か？

- ・日本看護師国家試験問題の分析：語彙・談話

- ・米国のNCLEX-RNと日本の看護師国家試験問題の言語の比較：語彙・談話

(2) 試験の提示条件の影響分析：試験の提示条件がどのように試験結果に影響するか？

多肢選択の過去問試験を4つの条件でインドネシア人看護師(30名)、日本人看護師(10名)、日本人大学生(10名)に実施した。

	テスト提示条件			
	日本語	日本語 時間 1.5倍	日本語ル ビ付き	インド ネシア 語
インドネシア人看護師	—	○	○	○
日本人看護師	○	—	—	—
日本人学生	○	—	—	—

(3) 学習者の解答ストラテジー分析：読解回答において看護知識と言語はどのように影響し合うのだろうか？ think-aloudで測定。

## 4. 研究の成果

試験の提示条件の影響を検証する実験において、提示条件におけるテスト全体得点の平均と標準偏差は以下の通りであった。

グループ	テスト提示条件 (16点満点)		
	L2 時間 延長	L2 ルビ 付き	L1
L2 看護師	8.36 (3.21)	8.32 (3.26)	8.43 (3.21)
L1 看護師	—	—	11.83 (1.41)
L1 学生	—	—	6.00 (1.10)

(1) テスト提示条件による有意差は見られなかった。

(2) テスト提示条件間で信頼できる中程度の相関関係があった。母語での得点の高い人は日本語でも得点が高い傾向がある。

(3) 専門知識、日本語力において個人差があり、言語知識と専門知識が複雑に関係していることを示唆している。

(4) L2 看護師は母語でも L1 看護師と比べて有意に得点が低かったため、日本における看護知識が不十分と言えらる。

(5) 状況設定問題では L2 看護師は L1 学生と同程度の成績であった。実践の場に必要な専門知識を十分にもっていないと言えらる。

(6) ルビ条件での状況設定問題では L2 看護師は L1 看護師と比べて有意差がなかった。ルビがあれば、解答しやすくなると言えらる。

試験問題の日本語が問題であることは漢字や熟語の分析結果からわかったが、外日本に通用する看護知識の不足も問題であることが検証され、このことは現場の看護部長へのインタビュー結果とも一致した。2010年5月にこの研究結果を厚生労働省に報告した。3か月後に試験問題の日本語の見直しが図られ、2011年度の問題は、一部の英語表記、ルビ、文の平易化など改良が見られた。また、3年という滞り期間も延長された。しかし、2011年も依然として外国人看護師候補者の合格率が低いため、更に日本語の問題点を厚生労働省に進言した。EPAによる受け入れ後の外国人看護師の国家試験合格率は2009年0%、2010年1.2%、2011年4%、2012年11.3%と増加してきた。日本語の提示方法に改良が見られたが、医療用語、看護用語の英文表記の併用などが今後の課題であり、この問題の解決は言語学者の領域より、医療関係者の領

域であろう。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 5 件)

①堀場裕紀江、深谷計子、看護師国家試験における外国人候補者のテストパフォーマンス—テスト提示条件とテスト問題の影響を日本人看護師・日本人大学生との比較から探る、神田外語大学院紀要言語科学研究、査読有、17号、2011、67-86

②五十嵐博美、樋口博一、ヤレド・フェブリアン・フェルナンデス、リア・アグスティナ、深谷計子、インドネシア人看護師候補者の国家試験合格への道—三之町病院の取り組み、聖路加看護大学紀要、査読無、37号、2011、19-24

③池田敦史、深谷計子、堀場裕紀江、インドネシア人看護師候補者への日本語指導—ある病院での実践から、聖路加看護大学紀要、査読無、37号、2011、15-18、

④池田敦史、深谷計子、堀場裕紀江、菱田治子、経済連携協定に基づき来日した看護師候補生の現状と問題点、聖路加看護大学紀要、査読無、36号、2010、86-90

⑤堀場裕紀江、深谷計子、インドネシア人看護師にとっての日本看護師国家試験の困難点—言語の問題か、専門知識の問題か、世界日語教育大会台湾大会予稿集、査読無、巻号無、2010、1-9

[学会発表] (計 6 件)

①Keiko Fukaya, Yukie Horiba, Linguistic problems, technical knowledge problems, and socio-cultural knowledge problems the foreign nurses face in the national examination in Japan, World Congress of Applied Linguistics, AUG 2011, Beijing China.

②Yukie Horiba, Keiko Fukaya, Takashi Saito, Is it a linguistic problem or a knowledge problem? Test performances of Indonesian nurse-candidates in Japan, European Second Language Association, SEP 2010, University of Modena and Reggio Emilia

(Italy)

③Yukie Horiba, Keiko Fukaya, Second language readers' memory for narrative texts: The effect of interest and causal reasoning, European Second Language Association, SEP 2010, University of Modena and Reggio Emilia (Italy)

④Yukie Horiba, Keiko Fukaya, Second language readers' memory for narrative texts: The effect of interest and causal reasoning, Society for Text & Discourse, AUG 2010, Chicago Illinois (USA)

⑤堀場裕紀江、深谷計子、インドネシア人看護師にとっての日本看護師国家試験の困難点—言語の問題か、専門知識の問題か、世界日語教育大会台湾大会、2010年7月~8月、National Chengchi University, Taipei Taiwan

⑥深谷計子、堀場裕紀江、齋藤隆、菱田治子、外国人看護師が国家試験受験で直面する困難は、言語に関わるものか内容知識に関わるものか、日本第二言語習得学会、2010年6月、岐阜大学

[図書] (計 1 件)

Horiba, Yukie, Fukaya, Keiko, Benjamin's Publishing Company, Effects of task instructions on text processing and learning in a Japanese EFL college nursing setting, Task-Based Language Teaching in Foreign Language Context: Research and Implementation, 2012, in printing, 89~107

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等  
なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

深谷 計子 (FUKAYA KEIKO)  
津田塾大学・言語文化研究所・研究員  
研究者番号：00238445

(2) 研究分担者  
なし

(3) 連携研究者

堀場 裕紀江 (HORIBA YUKIE)  
神田外語大学・大学院言語科学研究  
科・教授  
研究者番号：40316831